

# 道路大會と所感の一、二

村山喜一郎

道路改良會主催に係る第一回道路大會が、關西を代表する大阪に開かるゝことはまことに喜しく感ずるものである。

嘗て港灣協會第一回總會が神戸に於て開かれ、頗る盛況の裡に終始したに端を發し、爾來年々港灣に關係ある各地に開かれ、一般の港灣に關する認識を高むるとともに、我が國の港灣是を決定し、港灣行政上及び港灣技術上に大なる貢獻を爲しつゝあるが、港灣と唇齒輔車の關係にある道路の大會が、今亦關西に開るゝは港灣に比し利害關係も廣く普通のなるに顧み、此大會が、社會の關心を以て迎へらるゝは想像に餘りあるべく、大會の盛況を庶幾するものである。

今日社會が一般に道路として要求するものは、路面鋪裝であつて相當の幅員を有する道路である、鋪裝道路が一般に要望せらるゝに至つたものは、著しい自動車の發達によることと言ふまでもないことであるが、社會に刺戟を與へたのは震災による帝都復興の道路改良工事を見逃すことが出来ぬ、關西に於ては相當大計畫を以て手を付けたのは是に先つ大正十三年阪神國道の改良工事である、本工事は關西の道路改良上の促進の指針と云ふべきである、爾來今日まで十三年の歲月を

經て、漸く大津市より兵庫縣加古川まで完成したのである。茲に至つたのは關係府縣の努力と、國の援助によるものであるが、此の既往の進行工程に顧みるときは、將來幹線道路のみの改良に於てもイツの日に完成を遂げ得らるゝものか、時代の推移及國民經濟の發展に先鞭をつけなければならぬ交通機關が却つて之に副はぬものと云ひ得らるゝ。

× × × × × × ×

道路改良の必要が認められながら其の實現の遲々たるもの、畢竟財源難に起因する、何とか打開する途はなきものか、思ふに(一)現行道路法の改正と(二)財源の檢出方法を見出すことである、現行道路法は特殊の國道——軍事の目的を有する國道及主務大臣の指定國道——の外國道の管理、改良費は、府縣道と同様府縣に於て負擔することゝなつてゐるが、今日行詰まれる府縣の財政上、よく時代が要求する國道及府縣道の改良工事を爲し遂げる負擔力があるが、随分困難であると思ふ、この國道費の府縣負擔制度を改め國道は國費を以て、府縣道は府縣費、市町村道は市町村費を以て負擔するの制度となし國は専ら幹線道路の改良に當り、地方は幹線道路の改良に應呼し、府縣道以下の地方道路の改良に當らば、一段幹線道路の改良と相待ち改良事業の進展に資するものの大なるを信するものである。

× × × × × × ×

財政檢出方法に就ては現在特別負擔制度として、受益者負擔方法及び道路損傷負擔方法が認められてゐるが、局部的改良工事に因て田畑が市街地となり、或は工場地帯となるが如き場合に於ては、受益者負擔制度も、大に活用せられ相當有力なる財源たるも相當大なる改良工事に於ては數郡數町村に跨るを以て受益者として大なる負擔金を徵收するに困難なるものがあり、財政上期待を掛けることが六ヶしく、損傷負擔金制度に於ても同様の感じがする、一步を進めて道路を利用する物件より徵收する収入を以て特定財源として改良計畫を樹立したい、昭和八年度各府縣の荷車、自動車、馬車等車に

屬する雜種税の總額は二千四百七十五萬八千五百餘圓に達し、一府縣平均五十二萬六千七百餘圓に當つてゐる、之を特定財源とせば相當の計畫を遂行し得べきと信ずる、又財源を公債に求むることも考へられる、今日の如く金利低下し公債募集に有利の時代には公債政策によることは不可でないと思ふ、公債に就ては負擔を後世に貶すものであるとしての意見があるが、道路が百年の長計であつて、此の恩惠を享けるものは獨り現在の者のみでなく、後代の者亦其の恩惠を受けるのであるから、長期公債は道路財源として適當のものと思ふ。

× × × × × × ×

道路が改良せらるれば、距離短縮の實を得ることとなり利用の範圍は擴大せらるゝ自動車、トラックの場合を見るも其所在の府縣より他府縣の道路を利用する場合の多いものもある、道路が公衆の用に供せらる性質に照し、利用者より其の對價を得ることは理想的でないか、特殊の場合に於て著しく利益を得る場合は事業の發達を期するため必要とする、路錢の徴收の如き亦一方法であると思ふ、封建時代に於ては一人が私財を授じ水運の便を拓いたり、灌漑事業を完成した場合には、其の特權として運上金其の他種々の名目により企圖者に收入權を附與し投資と其の勞苦に酬ひ尙其の子孫に對しても特權を認めた實例もある、強ち悪い方法でもないと思ふ。(八、九、一二)

× × × × ×